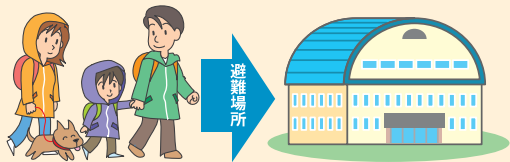


## 3-2 避難時の心得

避難行動には、「立ち退き避難」(水平避難)と「屋内安全確保」(垂直避難)があります。

### 「立ち退き避難」(水平避難)

自宅等から避難場所や安全な場所へ移動する避難行動。



### 「屋内安全確保」(垂直避難)

自宅等建物の上層階に留まり、安全を確保する避難行動。



## ■ 避難時の心構え

情報を収集!	避難する前に確認!	動きやすい服装で! 避難は運動靴で!	避難はできるだけ 二人以上で!	助け合って避難を!
気象情報や避難情報などの防災情報を集めましょう。 	電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。 	長靴では水が入ると動きにくくなります。 	一人だと、いざという時に助け合えません。 	高齢者や外国人、身体の不自由な方には、皆で助け合って避難しましょう。 
マンホールや水路の周辺	地下は危険です!	避難は徒歩で! 自動車は使わない!	アンダーパスは通らない	もし逃げ遅れたら…
やむを得ず夜間に避難しなければならなくなった場合、転倒や側溝への転落に十分注意をしましょう。 	地下では外の様子がわかりません。地上が浸水すると一気に水が流れ込んできます。 	自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別な場合を除きやめましょう。 	アンダーパスが冠水し自動車の水没する可能性があります。 	浸水が始まり、立ち退き避難が危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くの待ちましょう。 

3 大雨時のとるべき行動

## ■ 新型インフルエンザ等感染拡大下における避難について

新型インフルエンザ等感染症が収束していない中でも、災害時には危険な場所にいる人は迷わず避難することが原則です。災害の危険が迫り、避難をする場合には、感染症対策に万全を期すことが求められます。

### ■ 親戚や友人の家への避難が可能か

避難先は小中学校等だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

### ■ 安全な屋外で車中泊ができる場所があるか

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむを得ず車中泊をする場合は、周囲の安全確認を十分に行ってください。